

第32回YGN 若手勉強会
「IAEAで働く邦人職員に聞く。国際キャリア構築とIAEAでの機会」

主催：日本原子力学会 若手連絡会

日本原子力学会・若手連絡会 (YGN)は、第32回YGN若手勉強会「IAEAで働く日本人職員に聞く。国際キャリア構築とIAEAでの機会」を開催致します。

本勉強会では、国際原子力機関 (IAEA) に勤務する日本人職員を招き、国際的なキャリアに惹かれたきっかけや、IAEAでの採用に至るまでの経緯、IAEAでの仕事内容およびやりがい等についてフランクにお話いただきます。IAEAで働くことの魅力を知るとともに、IAEAの活動が日本の原子力業界や私たちの仕事へ与える影響等について肩肘張らずに意見交換をし、私たちのこれからの活動やキャリアについて考える場とします。国際的なキャリアを志向する方、IAEAでの仕事に少しでも興味がある方は、お気軽にご参加ください。

【日時】 2025年12月09日(火) 18:00-19:30

【場所】 Zoom 会議

【プログラム】

18:00 – 18:15	開会挨拶・趣旨説明
18:15 – 18:55	講演「IAEAでの仕事内容およびこれまでのキャリアについて」 ① 川野 晃 氏 ② 後藤 由樹 氏 ③ 奥村 森 氏 ④ 浅原 章 氏 モデレーター：大平 健悟 氏
18:55 – 19:30	質疑応答・自由討論

【講演者】

川野 晃 氏 (IAEA 原子力エネルギー局 原子力発電部 原子力発電エンジニアリング課 上級原子力エンジニア (Senior Nuclear Engineer))

1984年に東京電力株式会社に入社し、原子力部門に34年間勤務。原子力発電所及び本社にて、プラントの試運転、最新プラントABWRの設計、定期検査計画、保守、原子力安全マネジメント等の業務に従事。その間、米国ニューヨーク州のGEスケネクタディ工場に9か月、ウィーンのIAEAに3年間派遣。福島原子力事故後の復旧支援、国際対応、組織の立て直しに深く関わる。最終ポジションは、本社原子力安全・統括部長。2018年11月よりIAEAに赴任し、現職。専門分野は原子力発電所の優秀性 (Operational Excellence)、危機管理 (Risk Management) 。

後藤 由樹 氏 (IAEA 保障措置局 実施部A・保障措置査察官)

2023年より、IAEA (国際原子力機関) 保障措置局 保障措置査察官として現職。主に日本を除くアジア太平洋地域 (韓国、台湾等) の原子力施設における保障措置査察業務を担当。

2017年から2021年までは同局保障措置分析官として、IAEA保障措置に関する国際的ガイドラインの策定に従事。

IAEA入局以前の2002年より、公益財団法人 核物質管理センターに所属し、日本の原子力施設におけるIAEA 保障措置の実施支援業務に長年貢献。

奥村 森 氏 (IAEA 原子核科学応用局 物理・化学部 核データ課 核データ物理研究官補)

2014年に東京工業大学(現・東京科学大学)で博士(原子力工学)を取得。高レベル放射性廃棄物からのマインアクチニド分離をテーマに研究。IAEA勤務前は同大学でポストドク研究員として、核分裂生成物収率の評価や長寿命核分裂生成物低減を目的とした核データの解析に従事。学位取得以前は、IT業界でエンジニアおよびプロジェクトマネージャーとして10年以上にわたり、エンタープライズソフトウェア開発やシステム構築に携わる。

2018年よりIAEAレギュラースタッフとして現地採用。現在は、IAEAにおける核データ提供サービスの近代化の推進とFAIR原則に基づくデータ提供の実現に向けて取り組んでいる。

浅原 章 氏 (IAEA 原子力エネルギー局 核燃料サイクル・廃棄物技術部 廃止措置・環境修復課 プロジェクト担当官補)

2020年に福井県庁入庁。嶺南Eコースト計画関連プロジェクト(もんじゅサイトに設置する新たな試験研究炉の利活用促進、廃炉ビジネスの育成)や、県内原子力発電所における安全対策およびそれらに係る広報業務等に従事。外務省が実施するJPO(Junior Professional Officer)派遣制度により、2024年より現職。廃止措置の国際動向分析プロジェクトや、世界のレガシーサイトの情報を集約するポータルサイトの構築などに携わる。専門分野は廃止措置、放射性廃棄物管理。

大平 健悟 氏 (IAEA 人事部 タレントアウトリーチチーム インターン)

アメリカでビジネスを専攻し、卒業後、インターンとして今年3月からリクルーティング部門で業務を開始。日本人採用数増加に向けたプロジェクトを執り行っている。

* 講演および質疑応答の内容はすべて講演者個人の見解であり、IAEAの公式見解を表すものではありません。

- 【対象】 原則として、39歳以下の若手社会人・学生が対象です。
- 文系理系/専門分野問わず、お気軽にご参加ください。
 - 本会会員である必要はございません。

【定員】 80名程度(会員優先、先着順)

【参加費】 無料

【申込方法】 参加希望者は、12月7日(日)17時までに以下あるいは右のQRコードよりお申込ください。

お申込フォーム：<https://bit.ly/48fYGSY>

*ご登録後、翌日の17時までに登録確認メールをお送りいたします。

*アクセス不可の方は下記問い合わせ先までご連絡ください。

日本原子力学会 若手連絡会(担当：浅原章(IAEA))

メール：a.asahara@iaea.org

SCAN ME



【備考】

- YGN若手勉強会では「チャタム・ハウス・ルール」を適用し、参加者相互の信頼関係に基づく率直な議論を行います。本趣旨にご賛同の上、ご参加ください。
チャタム・ハウス・ルール：「会議で得た情報を参加者は自由に使用してもよいが、発言者及びその1. 他の参加者の身元・所属団体は明かしてはならない」というルール。国際会議等の場で率直な議論を促すために多く用いられている。
- 本勉強会へご参加いただいた皆様に、YGN活動(勉強会や見学会のご案内など)のメールマガジンを配信させていただきます。

<若手連絡会とは>

日本原子力学会若手連絡会は、原子力に携わる若手世代間の連携を強めることで、若手が本来持つ活力を引き出し、その専門性や能力を高める活動を行っています。この活動を通し、原子力全体の活性化を図り、原子力技術の発展、原子力に関する諸問題の解決、そのために必要となる新たな若手の育成に貢献することを目的としています。原子力の専門性を活かし、国・機関を超えた若手の連携によって社会へ貢献すべく、ネットワークの拡充強化を図っていきます。

ホームページ：<https://aesj-ygn.org/>

※第1回～第27回までは下記URL参照

<https://aesj-ygn.org/domestic/>

第1回	「もんじゅを見つめ直す」	2016年	10月
第2回	「次世代炉開発に向けて考慮すべきことは何か？」	2017年	2月
第3回	「原子力の将来とイノベーション」	2017年	4月
第4回	「次世代小型モジュラー炉:シンプルで安全、そして経済的な選択肢」	2017年	10月
第5回	「安全神話とは何か。私たちは本当に安全神話に囚われていたのか。」	2017年	11月
第6回	「原子力安全と自治体行政：福井県の経験から」	2018年	2月
第7回	「原子力プラント建設の技術継承」	2018年	5月
第8回	「著者と語る『日本の原子力外交－資源小国70年の苦闘』」	2018年	7月
第9回	「国際協力・海外進出の現状と今後」	2018年	12月
第10回	「放射線問題と国連 ～2つの『国連』報告を読み解く～」	2019年	1月
第11回	「原子力プラント建設の技術継承②」	2019年	5月
第12回	「原子力防災に携わる。一現場から研究室、そして現場へ」	2019年	9月
第13回	「脱炭素化、イノベーション、原子力の役割」	2019年	11月
第14回	「宇宙探査における原子力利用」	2020年	9月
第15回	「高速炉サイクル若手座談会～高速炉サイクルは何処へ～」	2020年	12月
第16回	「気候変動問題入門：なぜ『カーボンニュートラル』を目指すのか？」	2021年	1月
第17回	「核融合の早期実現という破壊的イノベーション」	2021年	6月
第18回	「2030年温室効果ガス46%削減目標の達成は可能か？」	2021年	6月
第19回	「メディアを知る」	2021年	6月
第20回	「OECD/NEAで働く若手日本人職員に聞く。」	2021年	8月
第21回	「電力システムの概要とカーボンニュートラルに向けた課題」	2021年	9月
第22回	「理科教育のプロに聞く。義務教育で放射線は教えられるのか？」	2021年	9月
第23回	「医療・生命科学に貢献する原子炉の役割。－新たな試験研究炉がもたらす産業イノベーションの可能性－」	2021年	9月
第24回	「米国から見た日本の原子力」	2021年	12月
第25回	「健全な「核燃料サイクル」に必要なものとは何だろう」	2022年	2月
第26回	「自身で将来の原子力産業を予測する！！～新型「核燃料サイクルシミュレータ」で定量的に議論～」	2022年	3月
第27回	「海に浮かぶ原子力発電所～イノベティブな検討による1F事故の反省を踏まえた原子力システム～」	2022年	6月
第28回	原子炉の「廃止措置」－課題と現状×廃炉ビジネス－	2023年	3月
第29回	NEAから見るカーボンニュートラルに向けた原子力動向	2024年	4月
第30回	倫理を考えてみる	2024年	10月
第31回	「エネルギー基本計画の若手からの提言を考える」(勉強会編) ～第7次エネルギー基本計画の基本を学ぶ～	2024年	10月